

令和元年度 第1回 都市環境デザイン委員会議事概要

日時：令和元年6月5日（水）13：30から

場所：帯広市役所10階第6会議室

出席委員

赤嶺委員長、門副委員長、青木委員、小村委員、府川委員、紅葉委員、
和田委員

事務局

和田都市建設部長、大橋都市計画課長、池田計画担当課長
奥秋計画係長、涌井主査、中鉢主任、阿部係員

議事概要

1. 開 会

2. 依頼状の交付

委員挨拶

3. 部長挨拶

4. 委員長・副委員長の選任

帯広市都市環境デザイン委員会設置要綱第5条第1項に基づき、委員の互選により委員長に赤嶺委員が選出され、同条第3項の規定に基づき、赤嶺委員長の指名により委員長職務代理者・副委員長に門委員が選出されました。

赤嶺委員長、門副委員長から選任にあたっての挨拶がありました。

5. 議 題

(1) 年間スケジュールについて

事務局より、今年度の委員会の予定について説明を行い、委員からの意見・質疑等はありませんでした。

(2) まちづくりデザイン賞について

事務局より、今年度の帯広市まちづくりデザイン賞について説明を行い、委員からの意見・質疑等はありませんでした。

(3) 令和元年度都市景観形成主要建築物の選定について

主要建築物の協議物件案として、大空地区義務教育学校について概要説明し、大空地区義務教育学校を今年度の都市景観形成主要建築物に選定しました。

なお、主な意見・質疑は次のとおりです。

【委員】

市内での小中一貫校は初めてか。

【事務局】

そうである。

【委員】

帯広市教育委員会で進めている、エリアファミリー構想とは、どのようなものか。

【事務局】

子供の育ちと学びをつなぐため、市内の幼稚園、保育所、小中学校などによる連携体制の構築を目指すものである。エリア全体で子供たちを育てていく取り組みを実践している。

【委員】

この構想は市内では大空地域だけで進められているものか。

【事務局】

市内全域で取り組まれており、中学校区を一つのエリアとしている。

【委員】

資料に表記してある建築面積は増築分の面積か、それとも増築後の総面積か。

【事務局】

増築後の総面積である。

【委員】

小中一貫という特徴があるので、異なる年齢層の子供が交流できるシンボリックな空間があるといい。

【委員】

建物の増築だけでなく、植栽や屋外の緑の活用など、全体をマネジメントする視点があるといい。

(4) その他

事務局より、新規事業「歩きたくなるまち発見事業」の概要説明を行いました。主な意見は次のとおりです。

【委員】

新しい取り組みになるので、委員会と事務局が意見を出し合って進めていくべきである。

【委員】

まち歩きマップや観光パンフレットは帯広にも既存のものも多くある。それらと差別化を図っていくことが重要であると考えます。

【委員】

市民目線を大事にしていくべきだと思う。また、例えば都市計画的な見地からどこが歩きやすいかなど、地図を広げて委員が意見を出し合うのもいいのではないかと。

【委員】

歩きたくなるまちというのは夏限定か。帯広は冬にも資源があると思うので、それらを生かすこともできるのではないかと。

【委員】

まち歩きイベントは百年記念館でも行っており、参加したことがある。ガイドによる説明などがあり満足度の高い内容であったので、今回の事業もそのようなところを目指せばいいのではないか。

【委員】

駐車スペースがなければ、マップを作成しても結局歩くのは地域の人限定になってしまう。離れたところの人も参加しやすいような工夫が必要となってくるだろう。

【委員】

帯広市には保存樹木というものがある。建物に興味がなくとも、植物に興味がある人にとって、まち歩きの一つのきっかけとなるのではないか。

【事務局】

頂いた意見を参考に、事業を進めていく。第3回デザイン委員会で協議を行うスポットは「平原通り」を考えているがよろしいか。

【委員】

異議なし。

【事務局】

次回のデザイン委員会は9月中旬の開催を予定しており、まちづくりデザイン賞の現地視察を行う。

6. 閉 会

以 上